

こんな重大事故が  
起きる前に  
老朽原発再稼働を  
とめよう！

老朽原発うごかすな！の声を関電、美浜町長、  
町議会に突きつけ、  
**美浜3号機を廃炉に追い込もう！**

11月23日に関電（大阪）を出発し、  
200 km をつないだ  
「老朽原発うごかすな！」リレーデモが  
**美浜町に到着する日**

**12・9(水)**  
**申し入れ・抗議行動へ！**

### ■当日スケジュール■

- 13時00分 美浜駅前集合/美浜町内デモ
- 13時45分 美浜町役場前でのアピール行動と  
美浜町長、議会へ申入れ
- 14時30分 美浜町内デモ
- 15時00分 美浜駅前、デモ終了
- 15時15分 関電原子力事業本部包囲抗議行動
- 16時00分 解散



★集会・デモ、交通手段などの詳細は、下記にお問い合わせください。  
木原 (090-1965-7102) / 橋田 (090-5676-7068)

**主催★老朽原発うごかすな！実行委員会**  
ブログ検索は「老朽原発うごかすな！実行委員会」

# 危険すぎる老朽原発・美浜3号機の即時廃炉を！

福島原発事故から10年目になりましたが、避難者の多くは今でも故郷を奪われたままです。事故収束の見通しは立たず、トリチウムなどの放射性物質を含む大量の汚染水が太平洋に流されようとしています。原発は、事故確率の高さ、事故被害の深刻さ、事故処理や使用済み核燃料処分の困難さなど、現在科学技術で制御できる装置ではありません。

その原発が老朽化すれば、危険度が急増することは多くが指摘するところです。それでも、関西電力は運転開始後44年超えになる老朽原発・美浜3号機の来年1月再稼動を画策し、全国の原発の60年運転を先導しようとしています。

原子力規制委員会（規制委）が、美浜原発3号機の運転を認可したのは2016年11月ですが、認可以降に、関電の原発に関連して、高温、高圧の1次冷却水が流れる蒸気発生器配管の損傷などのトラブル、再稼働準備工事中の死亡を含む人身事故、原発マネーに係わる不祥事が頻発しています。一方、関電は「使用済み核燃料の中間処分候補地を2018年までに探す」としながら、その約束を反故（ほご）にしましたままで。これらは、認可の過程では想定されなかったものばかりです。原発の40年超え運転が、人の命や尊厳、企業倫理をないがしろにして画策され、無責任な規制委がそれを認可していることを示します。

美浜原発から100km圏内には、76万人が住む福井県のみならず、257万人が住む京都府、141万人が住む滋賀県のほぼ全域、198万人が住む岐阜県の西半分が含まれます。このことと、福島原発事故では事故炉から約50km離れた飯舘村も全村避難であったことを考え合わせれば、美浜原発で重大事故が起これば、原発周辺の住民のみならず、何百万人もの人々が避難対象になりかねないことになります。避難は不可能です。琵琶湖は30～80km圏内にあり、重大事故では関西1450万人の飲用水が奪われます。

関電本店（大阪）を11月23日に出発し、200kmをつないで、12月9日に美浜町に到着する「老朽原発うごかすな！リレーデモ」が企画され、到着日には、関電原子力事業本部、美浜町長・議会への抗議・申入れ行動が予定されています。皆様の、ご賛同、ご支援、ご参加をお願いします。

原発の40年超え運転と新設を阻止すれば、最悪でも、2033年には若狭から、2049年には全国から稼働する原発が無くなります。老朽原発を廃炉に追い込み、原発のない、人の命と尊厳が大切にされる社会を実現しましょう！